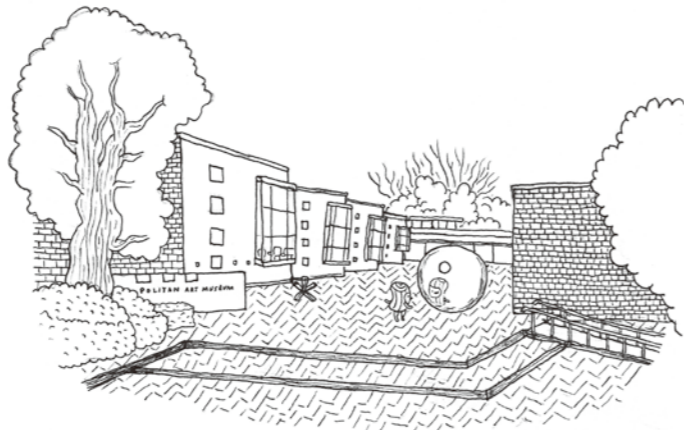


アート・ コミュニケーション 事業について



美術館の楽しみ方は、時代と共に変化し、広がっています。東京都美術館は2012年のリニューアルを機に、21世紀の美術館にふさわしい事業として「アート・コミュニケーション事業」を立ち上げました。美術館の文化資源を介して、多様な背景を持つ人々と美術館の関わりが生まれるウェルビーイングな場をつくることを目指しています。美術館が、芸術や文化財を研究し展示する場所であるだけでなく、人と作品、人と人をつなげ、創造的な時間が生まれる場所であるよう、以下の活動に取り組んでいます。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト



東京都美術館と東京藝術大学と市民とが協働し、美術館を拠点にアートを紹介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。



撮影：藤島亮

museum start



since 2013

上野公園に集まる9つの文化施設が連携して、こどもたちの「ミュージアム・デビュー」を応援するラーニングデザインプロジェクトです。



撮影：中島佑輔

Creative Ageing

ずっとび



歳を重ねても「ずっと」通いたくなる美術館を目指し、シニアを対象に、作品や人とクリエイティブに出会える、参加型のプログラムを企画しています。



撮影：中川正子

お問い合わせ

東京都美術館アート・コミュニケーション係
Tel 03-3823-6921(東京都美術館 代表番号)

E-mail acinfo@tobikan.jp

人と作品、人と人をつなげ、

創造的な時間が生まれる場所

コミュニケーション事業
体験する
2023
入場無料

東京都美術館
ロビー階 第3公募展示室

7.29 SAT → 8.11 FRI

開室時間 | 9:30~17:30(入室は閉室の30分前まで) 休室日 | 8月7日(月)

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

アート・コミュニケーション事業 体験する 2023

東京都美術館は 2012 年のリニューアル時に新しくミッションを掲げ、すべての人に開かれた「アートへの入口」を目指し、アート・コミュニケーション事業を始めました。この事業のことをより多くの人にお伝えするため、「アート・コミュニケーション事業を体験する 2023」を開催します。アートを介したコミュニケーションを、会場にいるアート・コミュニケータと一緒に、ライブで体験することができます。

7.29 SAT → 8.11 FRI



1 アート・コミュニケーション事業 によろこそ!

美術館が人と作品、人と人をつなげ、創造的な時間が生まれる場所であることを目指して活動するアート・コミュニケーション事業。これまでの活動の映像やアーカイブ資料を通して、12年間の事業を振り返ります。



とびらプロジェクトフォーラム 第二部の様子(撮影：藤島亮)



とびらプロジェクト基礎講座の様子

5 の会場で開催される主なプログラム

とびラーによる「建築ツアー」

- 7月31日(月) 11時00分～11時45分(受付開始10時45分)
- 8月4日(金) 15時00分～15時45分(受付開始14時45分)
- 8月6日(日) 10時30分～11時15分(受付開始10時15分)

展示室をスタート地点に、とびラーと一緒に対話しながら、東京都美術館を楽しく散策しませんか?それぞれのとびラーのオリジナリティ溢れるツアーです。

※各回20名で先着順です。

とびラボ体験

- 8月1日(火) 13時30分～16時30分
- 8月2日(水) 10時00分～13時00分
- 8月3日(木) 13時30分～16時30分
- 8月8日(火) 10時00分～13時00分
- 8月9日(水) 10時00分～13時00分
- 8月10日(木) 10時00分～13時00分

「とびラボ」とは、とびラー同士が自発的に開催するミーティングで、新しいプロジェクトの検討と発信が行われる場です。ここでは「とびラボ」の活動のポイントの一つ、集ったメンバーの力を発揮しあう「そこにいる人がすべて式」に注目し、とびラーとのコミュニケーションを楽しみながら、新たな価値をつくるプロセスを体験できます。

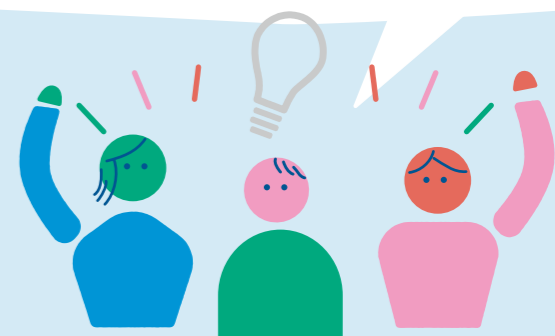
※1回あたり15分程度のプログラムを複数回行います。出入り自由です。

ワールドカフェ「美術館ってどんな場所?」

- 7月30日(日) 14時00分～16時00分
- 8月2日(水) 14時00分～16時00分
- 8月6日(日) 14時00分～16時00分
- 8月9日(水) 14時00分～16時00分
- 8月10日(木) 14時00分～16時00分

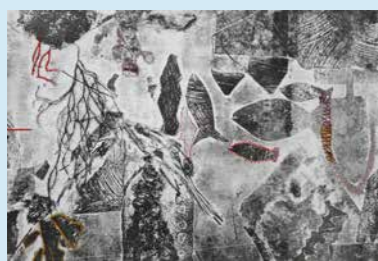
※1回あたり30分程度のプログラムを複数回行います。出入り自由です。

美術館の楽しみ方は、時代と共に変化し、広がっています。アート・コミュニケーション事業の学芸員やとびラーと一緒に、美術館の新しい楽しみ方やあり方について想像し、考えてみませんか?



2 レニャテロス工房の世界

ギャラリーで同時開催中の「うえののそこから「はじまり、はじまり」荒木珠奈展」と連動し、荒木さんがメキシコに留学中に親交を深めた、レニャテロス工房で作られた版画やアート・ブックなどを展示します。作品をみながらお話ししてみませんか?



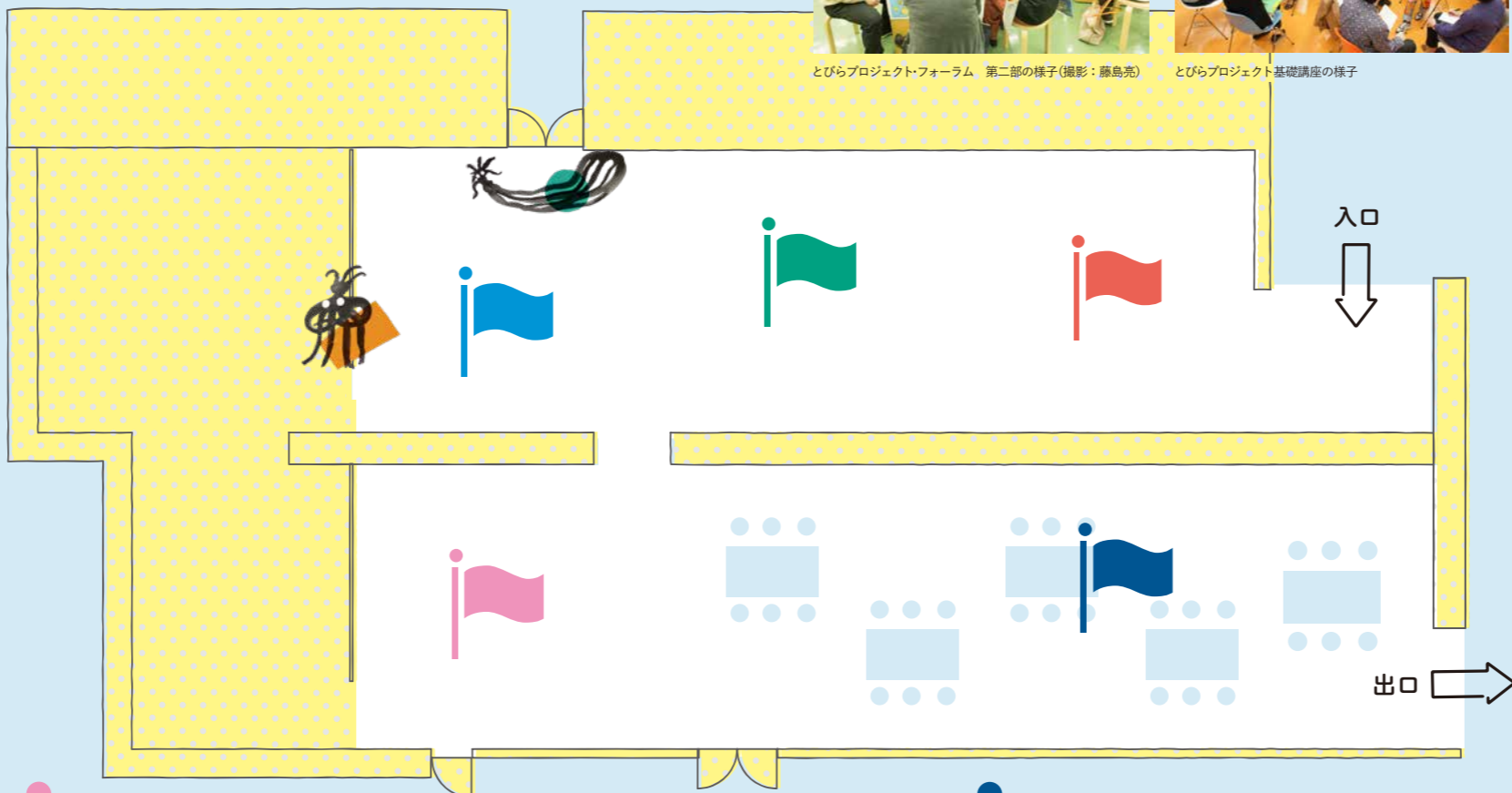
2006年にレニャテロス工房と荒木さんが共同制作した紙版画(部分)

3 版画のアトリエ

荒木さんが使用していたプレス機、版画の道具や材料が見られる部屋です。荒木さんの展示会のモチーフが木版画で摺られたプリントを実際に手に取ることもできます。一つの版から、たくさんのイメージが生まれる版画の面白さを味わえます。



荒木さんが使用していたプレス機



4 アーカイブルーム

「とびらプロジェクト」で活動する市民のアート・コミュニケータ(愛称:とびラー)がこれまでの活動で残してきた資料とともに、市民のさまざまな視点と対話によって生み出された、プロジェクトの幅広い活動の記録をご覧ください。



とびらボのアーカイブ

5 アートスタディールーム

普段とびラーが活動の場としている交流棟2階のアートスタディールームが、この期間だけ公募展示室に引越し、アート・コミュニケータの活動がこの部屋で行われます。「建築ツアー」「とびラボ体験」「ワールドカフェ」など、様々なプログラムにも参加できます。